

2018年度助成分

●2018年度に野村財団の奨学研究員助成を受けて、東京大学大学院法学政治学研究科が行った活動は以下の通りである。

- ①研究者：鄭黄燕（東京大学法学政治学研究科 綜合法政専攻博士課程4年）  
 滞在期間：2012年4月1日～2019年3月31日  
 研究課題名：現代中国における都市化政治：土地をめぐる都市部と農村部の関係に関する考察
- ②研究者：Roth Antoine Armin（東京大学法学政治学研究科 綜合法政専攻博士課程3年）  
 滞在期間：2014年4月1日～2019年3月31日  
 研究課題名：東アジア地域秩序における「ヒエラルキー」と「面子」の重要性と日中関係

●2018年度に野村財団の奨学研究員助成を受けて、東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターが行った活動は以下の通りである。

- ①研究者：Jeng-Guo S. Chen（Academia Sinica, Resaerch Fellow）  
 滞在期間：2018年6月1日～2018年6月6日  
 研究課題名：The dissemination of Adam Smith's ideas to China
- ②研究者：Levent Altinoglu（Federal Reserve Board of Governors, Economist）  
 滞在期間：2018年6月4日～2018年6月8日  
 研究課題名：Financial stability, systemic risk, and macroprudential policy
- ③研究者：Inger Barbara Leemans（Department of Art and Culture, History and Antiquity, VU University Amsterdam）  
 滞在期間：2018年10月10日～2018年10月23日  
 研究課題名：History of Financial Speculation, 1719-2018
- ④研究者：中田豪（新潟大学経済学部 准教授）  
 滞在期間：2018年10月1日～2018年12月29日  
 研究課題名：金融危機
- ⑤研究者：Giacomo Rondina（Department of Economics, University of California, San Diego, Associate Teaching Professor）  
 滞在期間：2019年1月28日～2019年2月2日  
 研究課題名：Develop theoretical model of indirect rational bubbles.
- ⑥研究者：Sugata Marjit（Centre for Studies in Social Sciences, Calcutta (CSSSC), Reserve Bank of India, Professor）  
 滞在期間：2019年3月4日～2019年3月8日  
 研究課題名：Distribution neutral fiscal policy